

春日丘高等学校創立111周年記念事業 募金趣意書 ~ご寄付のお願い~

大阪府立春日丘高等学校は、明治44年(1911年)大阪府三島郡茨木町外八ヶ村学校組合立三島女子技芸学校の設立を起源とし、以来大阪府三島郡茨木町外八ヶ村学校組合立三島美科高等学校、大阪府三島郡立三島高等学校、大阪府立三島高等学校、大阪府立茨木高等学校と改称を経て昭和23年(1948年)に現在の大阪府立春日丘高等学校と改称し今日に至り、令和4年(2022年)に創立111周年を迎えます。

平成23年(2011年)に創立100年の節目を経て、次なる周年事業を敢えて111年としました。「111」年「人」が「日々」(学んだ)「丘」という文字を組み合わせると「春日丘」になります。そこから、春日丘らしい節目として祝うこととしました。

創立100周年記念事業では、皆さまのご寄付によって、記念会館「ウイステリアホール」を建設し、以降、本校の教育活動には欠かせない教育空間として、各教科の授業、講演、自習、展示会、会議など、ジャンルを問わず、あらゆる場面で活用されています。

創立111周年記念事業は、未来の生徒にとって「何が実質的に必要か」を考え、2つのテーマを掲げ、その資金を募ることとしました。一つ目は、その「ウイステリアホール」を、次代に必要な不可欠な施設へとさらに進化させること、二つ目は、春日丘の生徒の安全を図り、より高度な教育環境を迅速に実現できるよう、10年分の基金を準備することです。

これらの取り組みを実現するために藤蔭会(同窓会)、PTA、後援会、学校の4者が一体となった「春日丘高等学校創立111周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、以下のとおり計画いたしました。

1. 記念式典の開催(春日丘高等学校にて、令和4年11月)
2. 記念写真誌「写真で綴る藤蔭111年(仮称)」の刊行(本校111年の歴史を写真を中心に編集)
3. 記念事業
 - ① ウイステリアホールの修繕と、次代に活用できる設備整備を行う。
 - ② 教育振興のための支援基金(特別教育活動支援・教育環境整備支援・国際交流支援・部活動支援 他)

何とぞ、この計画にご賛同をいただきまして、本記念事業が成功裏に行われ、春日丘高校のさらなる発展の礎となるよう、皆さまの深いご理解と温かいご協力をお願い申し上げます。

令和3年2月

大阪府立春日丘高等学校創立111周年記念事業実行委員会

会長	藤岡 康治(卒業生代表・昭和55年卒)	
副会長	水谷 英明(藤蔭会会長・昭和44年卒)	
副会長	辻井 亮(令和2年度PTA会長・昭和53年卒)	大阪府立春日丘高等学校
副会長	今井 岳史(令和2年度後援会会長・平成元年卒)	校長 中原 光子



令和4年(2022年)、春日丘高等学校は創立111周年を迎えます。

同窓会・PTA・後援会・学校の4者で構成する、創立111周年記念事業実行委員会が発足しました。来年の記念事業に向けてご協力をお願いいたします。



校長 中原光子



令和2年度後援会会長 今井岳史(平成元年卒)



令和2年度PTA会長 辻井亮(昭和53年卒)



藤蔭会(同窓会)会長 水谷英明(昭和44年卒)

創立100周年記念事業から早十年が経ちました。皆さまのご寄付により建てられた記念会館「ウイステリアホール」は、今や生徒たちには欠かせない施設として活用されています。当時その事業に関わった一人として、大変嬉しい限りです。
母校創立111周年記念事業を通じて、未来の生徒たちが少しでも充実した環境で高校生活を送れるようサポートしたいと考え、積極ながらこの度も実行委員会会長として務めさせていただく運びとなりました。
どうか、この記念事業にご賛同いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

藤蔭会、後援会ならびにPTAの皆様には、平素より本校の教育活動に多大なご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。
今年度は、コロナ禍の中、六月中旬よりようやく通常授業となりました。新たな生活様式における学校生活は、様々な変更を余儀なくされ、不自由なことも多いです。そのような中でも生徒たちは、春高生らしさを失わず、一日一日を大切に、高校生活を過ごしています。
令和4年度に111周年を迎える春日丘高校のさらなる発展・充実のため、微力ながら力を尽くして参ります。どうか引き続きご支援いただきたく思います。よろしくお願い申し上げます。

春日丘高校が創立111周年を迎えます。後援会として在校生、卒業生の皆様の心に残るような記念事業となるよう努力したいと思っております。
感謝しつつ、これを機に皆様と春日丘高校との絆がより一層深まればと思います。
後援会、藤蔭会ならびにPTA会員の皆様のご理解、ご協力を賜りながらこの周年記念事業を成功させたいと思っております。よろしくお祈り申し上げます。

伝統ある春日丘高校を卒業し、今度はPTA役員として再び春高に関われることを嬉しく思っています。
生徒会主催の新生歓迎オリエンテーションでは、四十数年前に私が教えてもらったフォークダンスをなんと今も教えてもらっていると言ってくれました。それを聞いて感動しました。これが伝統といふものではないでしょうか。引き続き伝統、自由あふれる校園を発展させていってほしいと願っています。
111周年記念事業が、過去を振り返り、伝統を未来に引き継ぎ発展させる。一つの区切りになってくれればと思います。この記念事業の成功に向け、PTA会員を始め、後援会、藤蔭会など多くの皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平素より、藤蔭会の活動に対し、ご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症による影響を受けられている皆様様に謹んでお見舞い申し上げます。
さて、先の創立100周年記念事業において、藤蔭会は記念会館の建設を主導的な立場で推進致しました。藤蔭会会員の皆様の母校に対する思いを結集したものが記念会館「ウイステリアホール」です。今回の記念事業では、この記念会館の維持修繕と、将来に向けて母校の発展に寄与し、良いかたちで活用してゆけるような仕組みづくりを計画しています。
つきましては、「創立111周年記念事業」を成功させるため、藤蔭会会員皆様の格別なるご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



実行委員会各代表のご挨拶